

## 城西川越学園 生徒の皆さんへ

段階的に始まった一学期もなんとか無事に終業式を迎えることができました。本来であれば今頃、世界はオリンピックに沸き立ち、みなさんには待ちに待った夏休みが訪れる予定でしたが、一連の混乱は未だ収束の兆しが見えませんね。

しかしこのような状況の中でも時は流れ、今日が終わり、明日が来ます。それは誰にとっても平等でどんなに世界情勢が不安定だろうと変わることはありません。今日は唯一の今日であり、振替はないのです。ですので、普段通りとは行きませんが、学校生活も、部活も、行事も、自分にできることを精一杯尽くして楽しんで欲しい。一日一日を大切に生きて欲しいと僕は心の底から願っています。

例えば、2度のくも膜下出血に倒れ「いつ死んでもおかしくないから」と言いながらも、多方面で惜しみなく才能を発信し続けている星野源さんや、白血病を患いながら少しも水泳を諦めない池江選手の笑顔を見ていると、彼らの生命の輝きを眩しいと感じずにはられません。コロナ禍に、今この瞬間だって命は続いていることに気づかされる気がしませんか？

さて、もうすぐ「けやき祭」の季節です。たった数日間のイベントですから、ただ過ごせばただ過ぎてしまう。しかし参加の仕方、気持ちの持ち方いかんで学生時代を彩る花火のような数日になり得るのではないのでしょうか。いつだって未来を創造するのは君たち自身です。一人一人が生きる力を燃やし爆発させることで目の前に迫った「けやき祭」も十年先の未来も想像を超えた素晴らしいものにできるかも知れません。どんな時も人生を楽しみ、自分らしく日々を生きるための努力を惜しまないでください。

こんな今だからこそ文化の力と可能性を探求したい。

「第46回けやき祭」を、令和2年9月5日（土）・6日（日）にWeb開催します。

感染させない気遣いと思いやりを大切にしつつ、みんなで文化の花を咲かせましょう。

美術 清水啓一郎